

家族のかたちシンポジウム

～里親制度・生殖医療／多様な家族を形成するための関係機関との連携と協働に向けて～

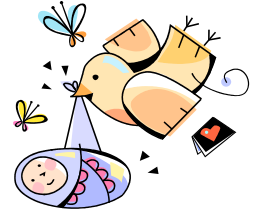
平成26年

11月22日(土)

13:30～16:30

会場

島根県職員会館
多目的ホール
(松江市内中原町52番地)



公開講演会

(13:30～14:45)

「「べき」論を語るのではなく、
家族の物語に耳を傾ける」
立命館大学 団士郎 教授

公開シンポジウム

(15:00～16:30)

「家族のかたちシンポジウム」

コーディネーター 団士郎氏 (立命館大学教授)

シンポジスト

内田 昭弘 氏 (内田クリニック院長)

勝部 愛子 氏 (島根県立中央病院 助産師、不妊症看護認定看護師)

荒木 晃子 氏 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構
客員研究員、内田クリニック心理士)

真鍋 友見 氏 (松江赤十字乳児院ファミリーソーシャルワーカー)

山崎 俊行 氏 (益田児童相談所所長) 他

・参加費は無料です。

・問い合わせ先 : 島根県中央児童相談所

総務企画・女性連携スタッフ 寺本・渡部

住所 松江市西川津町3090-1

TEL 0852-21-3168 FAX 0852-21-3163

<関連企画> 「家族の物語」マンガ展 ～里親制度啓発・児童虐待防止月間啓発～

平成26年11月4日(火)～11月22日(土)

島根県庁玄関 (シンポジウム当日は島根県職員会館多目的ホール前)

家族のかたちシンポジウム

～里親制度・生殖医療／多様な家族を形成するための関係機関の連携と協働に向けて～

【趣 旨】

厚生労働省は「社会的養護の課題と将来像」において家庭的養護の推進を掲げ、将来的に社会的養護が必要な子どもたちについて家庭養護(里親、ファミリーホーム)の割合を3分の1に引き上げる目標を示しています。

しかし里親委託ガイドラインにより「里親委託優先の原則」が掲げられたものの、実現に向けては登録里親の確保、実親の同意、子どもの問題の複雑化など多くの課題があり、これらを克服する上では家庭養護について広く、正しく理解していただく必要があります。

全国的にも望まない妊娠などにより、家族で育てることのできない子どもたちが多数存在しており、中には虐待により尊い命を奪われる事例も少なくありません。

このように、家族を必要とする子どもたちが誕生する一方で、新たな命を授かるため不妊治療に通院するカップルが後を絶たないという医療現場の現状もあります。

そうした方々にとって、里親制度を利用することはひとつの重要な選択肢です。

子どもたちにとって最も望ましい形で新しい家庭を提供するには、福祉関係機関や医療機関、行政機関など、子どもたちに関わる様々な機関が連携して取り組んでいくことが大切です。

本シンポジウムは、里親制度など多様な家族の形成への理解を深め、今後関係機関の連携と協働による具体的な取組を進めていくために開催するものです。

【期 日】平成26年11月22日(土) 13:30～16:30

【会 場】「島根県職員会館」多目的ホール

島根県松江市内中原町52番地 電話(0852)22-6100

【日 程】13:00 13:30 14:45 15:00 16:30

受 付	公 開 講 演 会	休 憩	公 開 シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会
--------	-----------------------	--------	--------------------------------------	--------

【対 象】児童福祉・里親制度・生殖医療に関心のある方、

児童福祉・生殖医療に関わる関係機関の職員

【主 催】

島根県(青少年家庭課、中央児童相談所、出雲児童相談所、浜田児童相談所、益田児童相談所)

【共 催】

立命館大学人間科学研究所

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「インクルーシブ社会に向けた支援の<学=実>連環型研究(修復的支援チーム)」

日本生殖看護学会山陰地区勉強会

【後 援】(予定)

島根産科婦人科学会、島根県産婦人科医会、島根家族援助研究会

参加申込書

当日参加も可能ですが、資料及び会場準備の都合上、できるだけ事前にお申込みください。

島根県中央児童相談所 寺本・渡部 あて

〒690-0823 松江市西川津町 3090-1

TEL:0852-21-3168

FAX:0852-21-3163

土・日・祝を除く8:30-17:15

所属、職種	(ふりがな) 氏名	住 所	電話番号	FAX 番号

※ご記入いただいた個人情報は、本会の運営のみに利用させていただきます。